

「風よ、吹け！」



フルート奏者
キリスト品川教会 音楽伝道師
SIONの風プレイズ・ミニストリーズ 主宰

しおん
紫園 香

「命ある限り、私は主に向かって歌い、長らえる限り、わたしの神にほめ歌をうたおう。どうか、わたしの歌が御心にかなうように。わたしは主によって喜び祝う。」(詩篇104:33~34)

賛美とは「イエスを主として生きること」だと思います。

賛美は私たちの霊に神さまの息吹を吹き入れます。賛美するうちに悲しみも苦しみも喜びも悩みも、すべて主からいただいたものと気づかされます。最悪の状況であっても、ありのままの現実を感謝し賛美して神さまの光に差し出すと、その問題はそのまま神さまの手に渡されます。私たちが自分のあがきをやめ、主に感謝し賛美したとき、初めて主は働き始められます。賛美は、古い自分に捉われている状況から、新しい霊の命へと私たちを造りかえてくれる力、新しい一步を踏み出す力を与えてくれます。

日本中に、そして世界中に賛美の風が吹き渡ること、これが「SIONの風プレイズ・ミニストリ

ーズ」のビジョンです。現在までに1700ヶ所を越す世界各地の教会で用いて頂き、フルートを通して福音を伝えさせていただいて参りました。

しおん音楽宣教のためには随分遠くまで出かけます。例えばケニア。ナイロビのコイノニア教育センターで、スラムの子ども達にフルートを教え、日本国内ではスラムの子どもたちの学校用地購入資金支援「コイノニアチャリティ・フルートコンサート」を全国展開し今年15回目になりました。来年は東南アジア文化友好協会とのコラボレーションでカンボジア音楽宣教に遣わさせていただきます。

「フルートは風を起こす楽器です。主が送ってくださる賛美の風が日本全土に、そして世界の果てにまで吹き渡っていきますように。日本の各教会に音楽伝道師が在駐し、教会どうしが賛美によって豊かに交わり、一つとされますように。愛する祖国が賛美にあふれ覆われるために、主よ、私の人生をお捧げいたします。」

— 著書「愛の風がきこえる」より —

TPCの活動目的

- (1) 閉塞感のある日本のキリスト教会に元気を与える
- (2) 超教派として活動する
- (3) 毎日、礼拝を捧げ、祈り会を行う
- (4) 伝道、学びなどのために貸室を提供する